

# 平成29年度第2回府中市地域公共交通活性化協議会 議事録

## 1 開催日時

平成29年8月21日（月） 午後3時00分～午後4時20分

## 2 開催場所

府中市役所4階 第一委員会室

## 3 出席者

（委員）

石津 高弘 石原 完壽 中村 一夫 渡邊 寛人 角 年昭 宮口 泰彦  
横島 幸宏 （代）重長 誠 （代）寺口 真耶 河毛 茂利 津川 員佳  
渡邊 一成 石川 裕洋 九十九 浩司

（オブザーバー）

赤澤 大

（事務局）

建設産業部長 若井 紳壮 まちづくり課長 杉島 賢治  
まちづくり課都市計画係長 能島 克則 まちづくり課都市計画係主任 掛江 昌史  
同主任技師 川崎 智隼

## 4 欠席委員

栗根 誠司

## 5 議事

第1号議案 市街地循環バス（左まわり）の試験運行（案）

第2号議案 路線バスの再編（案）

## 6 配布資料

資料1 府中市地域公共交通活性化協議会委員名簿／配席図

資料2 平成29年度第2回府中市地域公共交通活性化協議会議案集

資料3 報告事項

参考 おたっしゅ号チラシ

## 7 傍聴者

4人

## 8 議事の内容

### ○開会

【事務局】

### ○部長挨拶

【建設産業部長】

### ○配布資料の確認

【事務局】

### ○委員就任の報告、代理委員の紹介、欠席委員の報告

### ○議事

【事務局】

協議会規約によりまして、議長の方は会長に行っていただくこととなっております。これより先につきましては、渡邊会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

【渡邊会長】

皆さんこんにちは。今日も一日よろしくお願ひいたします。

本日はご多用中の中また、お暑い中ご参加いただきましてありがとうございます。

私事ですが、先週一週間夏休みをいただきまして、東京の方に帰っておりました。

久しぶりに、朝日新聞の天声人語を読んだのですが、ちょうどその時に、筑波大学の先生がコメントをされておまして、人はやはり一日 8,000 歩いた方が良い。そうしないと健康が保てなくなる可能性があるという話がありました。

これはいたって合理的な考え方だと思っているのですが、日常的に私は自転車で移動して大学の中を歩いているのですが、それでも一日 4,000 か 5,000 歩にしかならなくて、運動不足だと思っている次第です。そういう意味ではコンビニに行くのも車、なんてことをしている人はおそらく一日 2,000 歩も歩いていないのではないか、と思うわけです。

そうするとやはり高齢になった時、足腰弱くなるだとかそういったことも危惧されますので、やはり歩くということはすごく大事なんだなと。そういう意味では公共交通をどんどん使っていただいて、歩くということを日常的な習慣にさせていただくのがよろしいのではないかと思った次第でございます。

本日も一日よろしくお願ひいたします。

それでは以降座って進めさせていただきたいと思ひます。

事務局からご紹介ありましたように、今日は議事が二つあります。

まず第 1 号議案でございます。「市街地循環バス（左まわり）の試験運行（案）」について、まずは事務局から説明をしていただいて、その後ご意見ご質問を伺いたいと思ひます。

## 議事①

○市街地循環バス（左まわり）の試験運行（案）について

事務局より市街地循環バス（左まわり）の試験運行（案）について説明

### 【時刻表について】

時刻表については、左まわり便についてはリ・フレにまわらないため、既存の右まわり便への乗り換えが必要になります。乗り換えについては府中市民病院で行うのが一番スムーズだと考えております。そのため、府中市民病院での乗り換えがスムーズになるよう左まわり便の時刻表を調整するために多少の変更がある可能性があることを申し添えておきます。

### 【議長】

ありがとうございました。それでは、事務局の説明に対して皆様からご意見ご質問を頂きたいと思っております。どこからでも結構ですので、よろしく願いいたします。いかがでしょうか。

### 【委員】

何点か確認をさせてください。

本件はトヨタのハイエースを使うということなのですが、となると狭あいの道路等多いと思うので、バリフリ法の適用除外の申請をされる予定でよかったですでしょうか。

二点目として、運賃に関してなんですが、乗り継ぎ割引が無いというのは了解したのですが、その他、例えば障害者の割引であるとか、そういったものは特段無いという理解でよろしかったでしょうか。既存の路線がどうなっているか見てくるのを忘れたのですが、整合性が取れていればと思います。

三点目は時刻表を見る限り、府中市役所に到着された方が、そのまま乗りっぱなしで次の便に行くような事が出来そうな時刻で今書いてあるのですが、この場合通常であれば、一旦降りるといふ扱いにどうしても運行上なってしまいます。二倍運賃を貰うような扱いになってしまうのですが、そのあたりの整理はどのようにお考えか。一旦絶対降りてもらう様な術であるとか、そういった整理が取れているのでしょうか

最後に、今回実験運行ということですので、お客さんが乗らなければ、運行は中止となるのは住民の方には十分周知していただいているという理解でよろしかったでしょうか。

すいません以上4点、よろしく願いします。

### 【議長】

では事務局お願いします。

### 【事務局】

まず車輛について、通常の低床型等のバス車輛ではありませんので、バリアフリー法適用除外の申請の方は、中国バスから運輸局にさせていただくように準備をさせていただいていると伺っています。

運賃については、現行のぐるっとバスについても障害者割引は行っておりますので、統一の運用にさせて頂きたいと考えております。終点が府中市役所になっているので、府中市役所で停まってその後また乗ったまま。お金の方はそのまま運用しています。運用上運輸局と協議させていただきます。

**【委員】**

片方の便が一旦150円になって、次の便が無料になるという扱いになると思うので、乗車人数としては二人でカウントしないといけない。で片方は0円の割引にしてしまうか、乗った両方を半額にして、70円、150円という扱いにするのかというところで、ちょっと整理をしておけば対応はできると思います。

**【事務局】**

ではそちらの方は、中国バスの方で対応の方は協議させていただいて、進めさせていただきます。

次に、試験運行の住民周知については、先程説明いたしました通り、地元ヒアリングを行わせていただいております。地元に対しては社会実験で行う事を再三説明しております。

一定の目標数を乗られなかったら、本格運行できない事も理解をさせていただいております。その中で住民の方から、「じゃあ、せっかく通してもらうのだから、みんなで利用しよう」という意気込みを頂く町内会が非常に多くございまして、かなり地元の方々も今回の運行系統については注目をされている状況でございます。

**【議長】**

ありがとうございます。よろしいですか。  
他はいかがでしょうか。

**【委員】**

今更ということをお聞きします。車輛が小型化するという話なのですが、今説明をされていた、地元の住民の移動手段としての位置付けということなのですが、それ以外にも観光目的等の利用促進を図るということも考えてはどうでしょうか。せっかく車輛が小さくなったのなら府中駅のロータリーまで入ってもいいのではないかなという気もします。そこに色々な観光の停留所とかを表示すればそういった方も気軽に利用できるのではないかなということを単純に思いました。プラスどこの町に行っても観光で行くと一日乗車券というのがあるのですが、こういったのもあれば非常に使いやすいのではないかと思います。

**【議長】**

ありがとうございます。  
ロータリーへの乗り入れの話と、一日乗車割引の二つについて、事務局の回答をお願いいたします。

### 【事務局】

観光目的等の利用促進するために、府中駅のロータリーへ乗り入れてはどうかということでご提案いただいているのですが、府中駅のロータリーにつきましては、駅前広場ということで、府中市とJRの両方で協定を結んでおります。その関係で、府中市の方で決定という話にはなかなか出来ないのですが、今後JRと協議させていただきながらロータリーへの乗り入れを含めて、利用状況を見て、判断させていただきたいと考えております。

先程の一日乗車券についての提案ですが、こちらについても地元ヒアリングの中で先程の割引にあわせて一日乗車券の発行とかもできないか、という提案をいただいております。こちらの方も中国バスに協議させていただきながら、乗り換え割引の方法がいいのか、一日乗車券の方法がいいのか、あるいは観光目的の一日乗車券と何かをセットにしたものを発行出来ないか、とかそういった多様な考え方を含めまして中国バスと協議を図っていきたいと思っております。

### 【議長】

ありがとうございます。よろしいでしょうか。他は。はいどうぞ。

### 【委員】

いくつかあるのですが、まず今回試験運行の委託事業者の決定ということになりますので、仮に本格運行となった場合は再度事業者の選定を行うのかどうかということと、先程出ておりました、乗り換え割引ですが中国バスは通常割引制度がありますよね、乗り継ぎ割引。

これが単純に適用できるのか、ぐるっとバスからぐるっとバスへの乗り換えで適用出来るのかどうかということと、路線が今のぐるっとバスより10分程度長くなっているということもあるのですが、現行のぐるっとバスの路線と競合するところがかかなり出てくるということで、目標設定のところ、確かに左まわりだけの目標設定ということもあるのですが、両方含めた目標設定という方がもしかしたら好ましいのではないかと考えているのですが、これについて。

### 【議長】

事務局、お願いします。

### 【事務局】

今回の委託事業者は中国バスにお願いをさせていただいているのですが、本格運行をする場合でも今回の委託事業者と同一の事業者ということで中国バスへお願いをするという形で考えております。

乗り継ぎ割引についてですが、専門的な知識があまり無いのでもし補足があれば中国バスの方に補足説明をしていただければいいと思うのですが、今回の車輛について中国バスや他のバス会社で運用させていただいているPASPYでの運用ということになれば乗り継ぎ割引であるとかそういったことが出来るかと理解をしていたのですが、こちらのPASPYは今回の

車輛の方には小型車輛である為、小型の機械が無いということで使用出来ませんので、今回の車輛については現金払いのみという形になるということで伺っています。あわせてそういったPASPYが運用できないということであれば、乗り継ぎ割引も適用できないのではないかとこのところで理解をしていますが、もし間違っていれば中国バスの方で訂正をしていただければと思います。

あと、路線が長くなり、競合する関係で目標設定、こちらの方どうするかという事で別々に設定せずに、右まわりと左まわりの合わせた数での目標値設定をする方がよいのではないかとこの提案があったのですが、これについては皆さんの方で議論していただいて決めて頂ければいいと思うのですが、事務局といたしましても、委員も言われたように競合する部分が多くあり、現行のぐるっとバスのお客さんを新しいルートが喰ってしまう恐れもあるかと思えます。そういった事からも、両方合わせた形態で設定するのも一つの方法であるかと考えます。

**【議長】**

ありがとうございます。今の目標設定なのですが、目標値は今日この会議の場で決める必要があるのでしょうか。

**【事務局】**

決めていただきたいと考えています。

**【議長】**

その場合、合わせて設定するという話もありましたが、事務局の方の案というのは持ち合わせておりますでしょうか。

**【事務局】**

元々の考え方が、今回の左まわりのぐるっとバスというのが、先程冒頭にも説明しましたように例えば出口地区であるとか、見晴団地など、もともと現行のぐるっとバスが乗り入れ出来なかった地域の住民に使っていただきたいというのが大きな考え方のもとで進めてきたものです。それからすれば、トータルで考えるというよりは別々で考える方が妥当なのではないかというところを事務局は考えておりました。その中で議案にも記載しておりますが、現行の一日当たりの乗車人数 67.9 人、一便当たりの乗車人数 5.2 人と書いてあります。先程区域を競合するという事で乗客を喰ってしまうのではないかとこの話もあったのですが、事務局とすれば、同じ 5.2 人というのを目標としたらどうかと考えております。確かに乗客を喰ってしまうという考え方もあるのですが、逆に言えば相乗効果でもっと使っただけなのではないか、という考え方もある中で現行と同じ数値と考えております。

**【議長】**

ありがとうございます。そうすると、一便当たりの目標設定が5人で、運行本数が11便なので、一日あたりの乗車人員を55人に設定するということですね。

**【事務局】**

事務局としては、そのように考えております。

**【議長】**

ありがとうございます。この辺も含めてご意見等あればまた引き続きお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

中国バスさんの方から割引について何かコメントございますか。よろしいですか。

他にはいかがでしょうか。

では私から、一点教えていただきたい。

現行の右まわりの乗車人員で一番多く乗った時というのは、何人くらいの方が乗っているのでしょうか。実は今回乗車定員が半分よりも少なくなるので積み残しがあると、やはり地域の方々には困られると思います。その辺分かれば教えていただきたいのですが。

**【事務局】**

ぐるっとバスの現在の平均乗車人員ということで、ぐるっとバスは午前中に利用が集中しております。これについては病院への通院に利用される方が非常に多いということで、午前中の利用者が非常に多くなっております。ということで午前中の9時、10時の便になりますと、多い日ですと15～20人の方が乗られているような状況になっております。これが毎日というわけではないのですが、週に何回かはそういった便が出ている状況です。

対しまして、お昼からの便については、やはり通院者がおられなくなるということで数人の便もありますし、逆に何人か乗られている日もあるのですが、それを全部平均して、一便当たり平均乗車人数が5人という形になっています。決して5人しか乗っていないというのではなくて、かなり偏った利用になっている状況です。

**【議長】**

ありがとうございます。じゃあ乗客もぎりぎりぐらいになる可能性があるということですね。

**【事務局】**

地域の方からのそういった心配の声もありました。なかなかそういった時に増便がすぐに対応出来ないかもしれません。逆に、昨年もあったのですが、保育所の方で、ぐるっとバスを利用してPOMに行きたいので利用したいとの声を頂いたのですが、それについては事前に人数が大体把握できますので、何時の便に何人くらい乗りますというのを伺っておけば、

事前に対応できるように中国バスにさせていただきましたので、突然何十人も乗られるということは想定できないのですが、事前に連絡をしていただければ対応の方は可能であると考えます。

**【議長】**

ありがとうございました。これからそういう意味では地元で周知をすると思いますが、その際には是非ともそういうことも含めてアナウンスをしていただければというふうに思います。

他はいかがでしょうか。

**【委員】**

先程運賃の関係で、PASPY の搭載が小型車両なので難しいという話があったのですが、実際運行上は難しいのだと思うのですが、本格運行時になっても難しいのかという事を確認させてください。

**【議長】**

事務局、よろしいですか。

**【事務局】**

PASPY についてなんですが、今のところ中国バスに確認させて頂いた中では、本格運行後も、現段階で機械がないため小型車両には搭載できないとお聞きしております。

**【議長】**

他はいかがでしょうか。

それでは、無いようでしたらこの件につきまして、皆様の方におはかりをしたいと思います。

基本的に質疑が出されまして、いくつか基本的には皆様のご意見がお答えいただけたかと思うのですが、再度確認すると、10 ページの⑦、目標値の設定についてということに対しては、今右まわりはここに書いてある通りでプラスして左まわりについては、一日当たり乗車人員が 55 人、一便当たりの乗車人員を 5 人という目標設定にするということでおはかりをしたいと思います。

それでは議案ですので採決を行いたいと思います。第 1 号議案「市街地循環バス（左まわり）の試験運行（案）」について採決を行います。承認をいただける方は挙手をお願いいたします。

（委員同意）

ありがとうございます。

挙手多数ということでございます。それではこれにつきましては案の通り運行ということで取組みたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは次に第2号議案「路線バスの再編（案）」について、事務局から説明をいただいて、その後に皆様からご意見ご質問を伺いたいと思います。

では、事務局から説明お願いいたします。

## 議事②

### ○路線バスの再編（案）について

事務局より路線バスの再編（案）について説明

#### 【議長】

ありがとうございました。それでは事務局の説明に対しましてご意見ご質問がありましたらお願いいたします。

私から一つ。チラシが今手元にあるのですが、一番最後のページでこの写真がバンと載っている、「地域が主役、乗って残そう、公共交通」気持ちとしてはすごくよく分かるのですが、地元の方からすると地図とか無くても分かるのかなとか思ったのですが、地図をつけたらどうでしょうか。そのあたり、地図は要らないというのであれば全然かまわないですが、そのあたりはいかがでしょうか。

#### 【事務局】

検討させていただきます。ご意見ありがとうございます。

#### 【議長】

わかりました。思いはすごくわかりますので、その辺またご検討いただけたらと思います。他はいかがでしょうか。

#### 【委員】

おたっしや号のチラシを新しくされて利用していただくように周知をされているということなのですが、住民説明会后、おたっしや号の利用促進をされていくということなのですが、先ほど登録が増えている、というお話があったのですが、お客さんが増えたなという実感としてあれば教えてください。

#### 【事務局】

実際登録者の方は順調にといえますか、少しずつ伸びてはいるのですが、やはり登録をされるだけで利用に繋がっているという実態はなかなか見えてこない状態です。この後、報告事項として説明させていただくのですが、他の地域のデマンド型乗り合いタクシーについて

も同様なのですが、登録者の方は多くの方にさせていただいたのですが、やはり利用者の方が伸びていかないという実態がありまして、根本的にやり方を考えていかなければならないのではないかと考えているところです。

**【議長】**

ありがとうございます。他はいかがでしょうか。

私のもう一つ。資料2の14ページ目の地元説明会の開催の中の意見に、府中上下線、福塩線との連携も検討してほしいというのは、これはおたっしや号の運行時間と二つの路線との乗り継ぎを検討してほしいのかこのあたりをちょっと教えてください。

**【事務局】**

おたっしや号を利用されるかたは通院目的の方が多くおられるのですが、通院だけではなく、説明会に参加していただいた方の中には、遊びに行きたいとか府中方面、道の駅にも行ってみたいという意見もありましてそういった府中上下線・福塩線とうまく繋がるようにおたっしや号の便についても検討してもらいたいというご意見をいただいたものです。

**【議長】**

ありがとうございます。これについて今後検討するということでよろしいですか。

**【事務局】**

はい。

**【議長】**

他はいかがでしょうか。

**【委員】**

質問です。デマンドの場合、いつも一日につき一便、朝出たら昼に帰とるということくらいしか便がないのですが、これ便数をもっと増やすとか検討されないのでしょうか。この時間帯に合わせることは利用者の方には選択の余地が無いということになりますので、例えば夕方帰りたいといっても無いとかということで最初から行く気が起こらないとかですね、そういうことに繋がるのではないかという気がするのですが。

もう少し、デマンド型でもですね、便数を増やすもしくは予約があれば入れてもいいという許容範囲を増やすということも考えられたらいかがかなと思ったのですが。いかがでしょうか。

**【事務局】**

府中地区のデマンドタクシーは週1日往復1便の3地域。おたっしや号については、週2日往復1便の6地域運行しています。

例えば一日一便行って帰るだけ、それで果たして利用しやすいのかということがあります。その中で今検討しているのは、例えば帰り便の時間をずらす等、今後検討していきたいと思っております

また実際に利用が伸びれば増便は可能であると地元の説明させていただいているのですが、これまで毎日バスが運行していたのに、週に二日だったらなかなか利用できない、というふうな地域によっては、試験的な増便というのもあると思います。その辺を前向きに検討させていただくお話をさせていただいているところです。

**【議長】**

ありがとうございます。地元説明会でも地元の方から便数の増加等も前向きに検討してほしいという意見は出ているみたいですので、何か実験的に増やすとかそういうのは出来ないうすかね。

**【事務局】**

試験的に増やしていくというのも確かに一つの方法とは考えております。

例えば、半年間実際に運行する便数を増やして、どういう曜日がいいのかとか、実際に増やす必要があるのか無いのかというところもふまえて、今後必要なのかなと感じております。

**【議長】**

ありがとうございます。予算措置を伴う件ですので、これについては引き続きご検討いただきたいと思っております。

他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

これにつきましても、議案ということですので、これから採決に入りたいと思っております。先程と同様挙手による採決にさせていただきたいと思っております。

第2号議案「路線バスの再編（案）」につきまして、採決を行いたいと思っております。

承認いただける方は挙手をお願いいたします。

**（委員同意）**

ありがとうございます。挙手多数でございます。本案につきましては事務局の案のとおり可決ということでございます。

先程ちょっと申しましたように、便数の問題については地元からも要望が出ていますので、是非とも今後増やすような社会実験をあわせてご検討いただければというふうに思うところでございます。

以上で議案については終わりなのですが、先へ進んでよろしいでしょうか。

それでは最後に報告事項として事務局の方から説明をお願いします。

## 報告事項

### ○報告事項について

事務局より報告事項について説明

#### 【議長】

ありがとうございました。それでは今の事務局からの説明に対しましてご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

では私から二つ。まず一点目が、最初の1ページ目の説明にあった、ふれあいタクシーですが、私も勉強不足な点があって、教えていただきたいのですが、これも先程のおたっしや号と一緒に事前登録をしていただいて、その中で利用していただくという理解でよろしいでしょうか。その場合に先程実はほぼ2,3人の人が使っている、というお話があったのですが、登録者数としてはどのくらいの方が登録をされているのか、もし分かったら教えていただきたい。

もう一つ、福塩線対策の一つ目のレンタサイクルの事業ですが、これは市の事業として取り組まれていて、夏休み期間中に自転車を全部借り上げる費用含めて市の方で全部対応されているという理解でよろしかったのでしょうか。以上二点、お願いいたします。

#### 【事務局】

ふれあいタクシーにつきましては、諸田地区につきましては登録者今現在で大体60人ぐらい登録はされております。これについても3月に地元説明会に行かせて頂きました。来場していただいた皆さんが、その時に登録させていただいたのがほとんどです。

空木地区におきましてはかなりの小さな集落になっておりまして、当初の導入段階から死亡転居された方もおられまして、現在は20人程度の登録者数になっているところです。

荒谷地区においては、登録者の数は諸田地区と同程度もしくはもうちょっと多かったかと思うのですが、やはり利用される方は非常に少ない状況です。

あと、福塩線対策協議会についてなんですが、事務局の説明不足で申し訳ありません。先程説明した福山市、三次市、府中市、世羅町の4つの市町で構成している協議会です。負担金を各市町で出させていただいて、その中で運営をさせていただいているという状況です。府中市からも負担金として毎年支出させていただいております。このレンタサイクルについても協議会で中古の自転車を買って運用されていると伺っております。以上です。

#### 【議長】

ありがとうございました。他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは報告事項ですので、引き続き取組を進めていただければということでございます。

以上で今日の審議事項及び報告事項終わりなのですが、皆様の方から何かございますか。よろしいでしょうか。

冒頭事務局の方から説明もありましたように、府中市においても、今後地域公共交通網形成計画を作るという方向をお考えのようですので、公共交通を市民の方々が使い易いようにする為にどうあるべきなのかというのは引き続き検討して計画にのせて実施するという事に取り組んでいければと思った次第でございます。皆様も多分同じような気持ちだと思いますので、引き続き色々ご意見等いただければと思います。

以上で議事を終了したいと思います。では司会を事務局の方に戻します。お願いします。

#### 【事務局】

では皆さん長時間に渡りありがとうございます。本日頂きました貴重なご意見をもとに次の作業の方に入って行きたいと思っております。

以上をもちまして第2回府中市地域公共交通活性化協議会を終了とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

○閉会